

ダムだより

No.58



2017.10.12

国土交通省
四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
TEL 0893-34-3000
FAX 0893-34-3358



鹿野川ダム夏休み見学会

「ダムだより58号」目次

- 山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定……………P 2
- 鹿野川ダム改造事業の進捗状況及び工事の予定……………P 3
- 鹿野川ダムで夏休み見学会を開催しました……………P 4
- 「河辺川のきれいさを調査しよう！水生生物調査と ……P 6
水質簡易パックテスト」を実施しました
- 山鳥坂鎮神楽（夜神楽）が開催されました……………P 7
- シリーズ・働く現場から 潜入取材！ダム管理業務とは！……………P 8

山鳥坂ダム職員によるブログをホームページで公開しています。
地域の情報などを発信していますのでぜひ一度ご覧ください。

[山鳥坂ブログ](#)

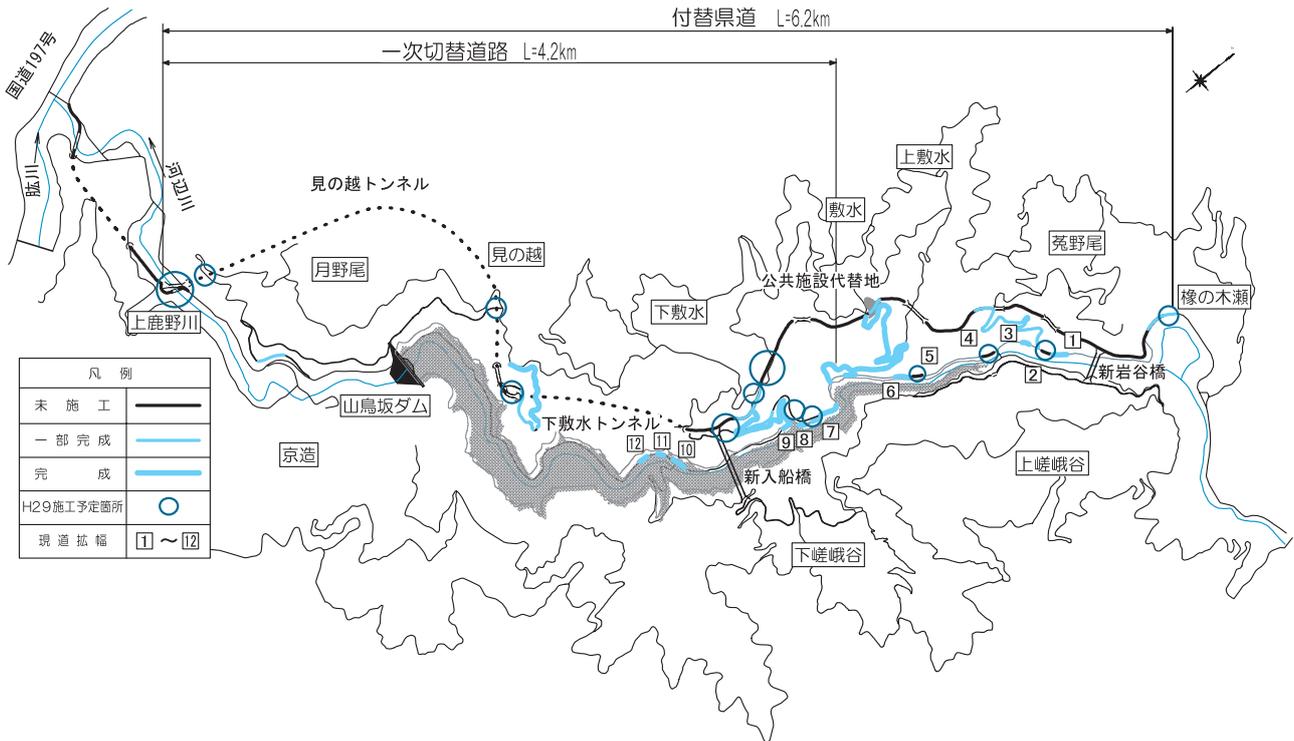
[検索](#)



山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定

現在、上鹿野川地区、見の越地区、下敷水地区、菟野尾地区、椽の木瀬地区において県道（主要地方道小田河辺大洲線）の付替工事や工用道路工事、現県道の拡幅工事を進めています。今年度は下記平面図の○印の箇所において工事を行う予定です。

工事の進捗に伴い、土砂を運搬するダンプトラック等の通行が多くなってきており、近隣にお住まいの皆様、道路を通行される皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。地元車両の通行の優先や昼間のライト点灯を徹底するなど、地域の皆様の生活への支障が生じないように努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



工事実施状況

付替県道の
新設工事
(仮橋架設等)
〈上鹿野川地区〉



平成 28 年 11 月時点



平成 29 年 9 月時点

工用道路の
新設工事
〈下敷水地区〉



平成 27 年 11 月時点



平成 29 年 9 月時点

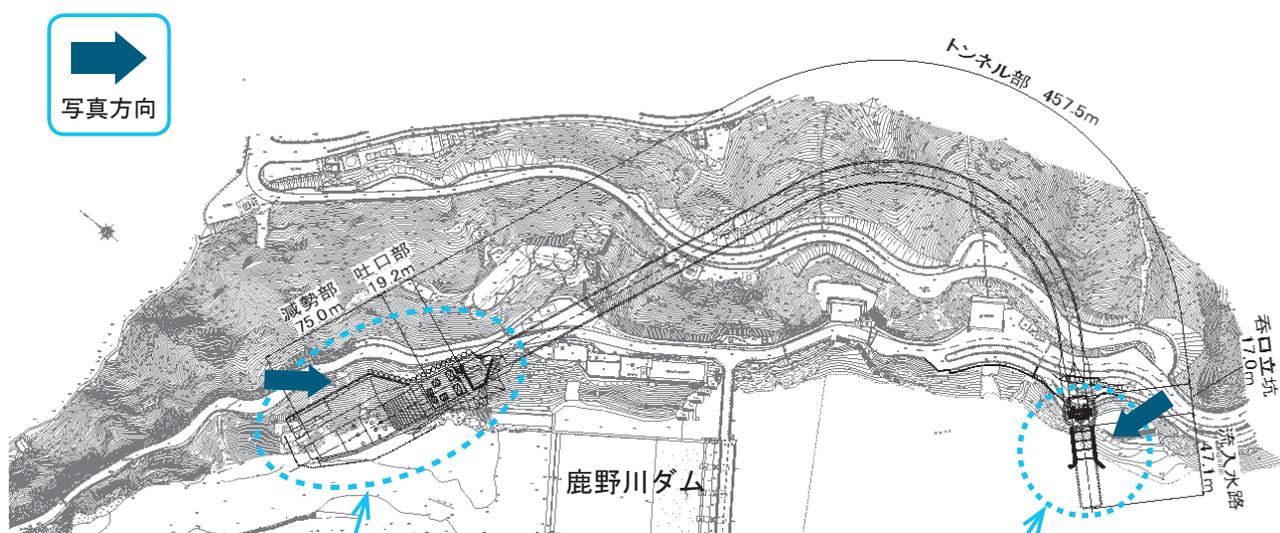
鹿野川ダム改造事業の進捗状況及び工事の予定

肱川下流域における洪水被害の軽減と河川環境（水質・水量）の改善を目的として鹿野川ダム改造事業を実施しています。現在、河川環境の改善を目的とした選択取水設備などについては完成し運用中、洪水被害の軽減を目的としたトンネル洪水吐の工事は引き続き進めているところです。

トンネル洪水吐については、上流側の呑口部流入水路及び放流設備の施工、下流側の吐口部減勢工を施工しています。

上流側の流入水路の施工においては、昼夜2交替制で水中の岩盤掘削の作業を行っています。また、下流側の吐口部については、放流設備もほぼ完成し減勢工と建屋の施工を残すのみとなり、これから本格的に減勢工の施工に入る予定です。現場周辺では土砂搬出のためのダンプトラックが多数走行することとなりますが、工事現場周辺におきましては、今後とも一般交通の安全に十分配慮していきます。

また、資機材の搬出入や夜間作業などにより発生する騒音などで大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



平成 29 年 9 月時点



平成 29 年 9 月時点

～鹿野川ダムで夏休み見学会を開催しました～

7月30日(日)に「鹿野川ダム夏休み見学会 ～見て、学んで、作ろう～」を開催しました。この見学会は、森と湖に親しむ旬間(7月21日～31日)イベントとして、小学生とその保護者を対象に実施しました。参加者を募集して早々に定員オーバーとなり皆様にご迷惑をお掛けしました。

見学会は、ダム堤体内監査廊やトンネル洪水吐の見学を行う【見る】、鹿野川ダムのはたらきについて勉強する【学ぶ】、鹿野川ダムオリジナルペーパークラフトを作成する【作る】の3つのポイントで構成し、午前・午後の2回で合計156名の参加がありました。参加者は暑い中、階段の上り下りに悪戦苦闘しながら、見た目より多くの水が放流されているジェットフローゲート、外とは別世界の涼しい監査廊、スケールが大きいトンネル洪水吐などを見て色々な驚きを体験していただきました。

普段の生活ではできないことを体験した小学生のみなさんは、夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。また、夏休みの自由研究等にも活用していただければ幸いです。

来年度も鹿野川ダム見学は実施しますのでお楽しみに。

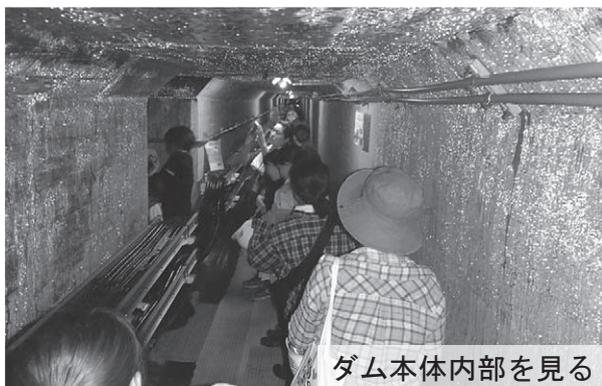
見る



ダム操作室を見る



トンネル洪水吐工事現場を見る



ダム本体内部を見る



トンネル洪水吐内部を見る

学ぶ



ダムのはたらきを学ぶ



トンネル洪水吐の工事を学ぶ



鹿野川ダムペーパークラフトを作る



ペーパークラフトできあがり



鹿野川ダム階段を体験する



トンネル洪水吐通り抜けを体験する



全体集合写真



全体集合写真



参加してくれたみんな
ありがとう!

「河辺川のきれいさを調査しよう！ 水生生物調査と水質簡易パックテスト」を実施しました

6月15日（木）の午前中に河辺川で肱川小学校の3・4年生26人と一緒に水生生物調査と水質簡易パックテストを実施しました。この調査は、環境省及び国土交通省が毎年全国で実施しているもので、身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を図ることを目的としています。

川の中に入って水生生物の採取、水生生物の同定、水質調査、同定された種類と水質調査結果から川のきれいさを判定しました。

調査員として調査を実施してくれた肱川小学校のみなさんのおかげで、河辺川はきれいな状態であることが今回の調査でわかりました。

今後も、水生生物調査などを通して、未来を担う子供達にきれいな川を守っていくことの大切さを伝えながら、河川行政に努めていきたいと思えます。



水生生物調査の様子



水質調査の様子

山鳥坂鎮縄神楽(夜神楽)が開催されました

8月13日(日)、岩谷地区で恒例の「山鳥坂鎮縄神楽(やまとさかしめかぐら)」が開催されました。

この神楽は、愛媛県無形民俗文化財に指定されており、岩谷地区の地元の方達を中心となつての恒例行事となっています。

今回は記念すべき第20回目の開催となり、また、日曜日とも重なり、お盆で帰省中の方など大勢の観客で賑わいました。

松明の明かりの下、「清祓い」、「御前(盆の舞)」と次々と舞われ、観客は幽玄の世界に酔いしれました。また、観客の方が参加される場面もあり、荘厳でありながら楽しく進んで行きました。

クライマックスの「大蛇(おろち)退治の舞」では、山中より出現した長さ45mの大蛇に、観客の目は釘付けとなり、大蛇が退治され、舞が終わると大喝采でした。



当事務所も関係機関の協力の下、夜神楽開催にあわせて開催した「森と水を考える交流会」では、パネル展示や、河辺川に棲む小さな魚や貝とふれあえるコーナーを開設し、好評をいただきました。



今回は、鹿野川ダムの管理をしている「(株)建設マネジメント四国」の二宮さんと三馬さんにインタビューさせていただきました。



鹿野川ダムを支えるプロに密着!?

■ダム管理業務ではどんなことをしていますか。

日常的にしている業務は『巡視』・『記録』・『点検』です。



車や船で、構造物の破損・地山の崩壊・不法占用・不法投棄・水質異常(油流出・アオコ・淡水赤潮)等が無いかを直接、目視により確認します。



毎朝、操作室で、ダムコン・テレメータ(雨量・水位自動観測装置)・気象観測装置(気温・水温・漏水量)・水質自動観測装置・洪水予測システム・CCTV(カメラ)等の機器で観測や計算された結果に異常値が無いかを確認しています。



ダム堤体観測では、漏水量・揚圧力・クラック・たわみ量(プラムライン)を計測していて、数値に異常が無いかを確認しています。

■ダム管理業務で放流時にしていることはどんなことですか。

大雨が降ったときなどは、ダムの洪水用ゲートから放流を行います。洪水用ゲートからの放流では、流量が大きくなり、下流の河川水位が急に高くなって危険になるため、事前に警報所からサイレンを吹鳴したり、放送で注意をうながしたりしています。ダム管理補助員である私たちは、事前に防災関係機関に情報を連絡するお手伝いをしています。また、ダムに流入してくる流量の予測計算や、洪水用ゲートの開度を計算する補助もしています。

■ダム管理でやりがいを感じるのはどんなときですか。

洪水予測を行い放流量を低減させて下流の被害を少なくできた時にダムが住民のために役に立っていると実感することができ、やりがいを強く感じます。



(株)建設マネジメント四国
三馬 崇一さん、二宮 浩二さん

■心がけていることはありますか。

常に天気予報をみています。
雨が降っている時は雨雲短期予測を見ています。
適切なダム操作を行い放流で下流の被害が出ないように心がけています。

■地域の方々にひとことおねがいします。

ダムの存在と適切な操作により下流被害が少なくなっていることを理解してくれる方が多くなると嬉しいです。



貯水池内維持



採水作業



水質自動観測装置



ダム湖の水について自動的に水質分析を行い、その結果を送信します。



プラムライン



ダム上部からぶら下げられたステンレス線により、たわみ量を計測しています。



※写真は洪水対応演習の様子です

